

B ストリートカット(トレンドスタイル)

課題: 必ずカールパーマ(ストレートパーマは禁止)、カラーリングを事前に施したモデルに対し、カット及びブローによりトレンドヘアスタイルを制作するもので、審査は全体的なトータルバランスで行うものとする。ヘアスタイル制作にあたって、作品に独自の創造性、発信性、ファッション性が表現されるものとする。仕上がりは芸術的であったり、凝り過ぎていてはならず、また、スプレーをかけ過ぎてはならない。カラー及びデザインは、極端であってはならない。

出場資格: 愛知県内の美容組合員及び従業員(保健所へ従業員の届け出がしてあること)であり、美容師免許有資格者。(申込時に美容師免許証のコピーを提出すること。)

競技時間: 40分

競技に関する制限及び禁止事項(違反した場合は、減点もしくは失格となる。)

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は衿付で白いもの(色、柄は禁止)、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする。(ミニスカートは禁止する。)靴は、ヒールの低いものとする。
- ② 競技中、選手同士又はモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ③ 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ④ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑤ モデルは、美容あいちから提供されるケープを着用しなければならない。
- ⑥ モデルの髪は、事前にスタイリングされてはならない。(形付けのための整髪料、カーラー、ピン類がついてはならない。)
- ⑦ モデルの髪は、控室で完全に濡らし、オールバックにシェープして競技ステージに入り、髪が濡れた状態から始めなければならない。
- ⑧ カットは、全頭3cm以上カットしなければならない。(事前点検時に撮影し、競技終了後、監視委員が確認する。)
- ⑨ ヘアスタイルの制作にあたって、モデルは選手の手助けをしてはならない。
- ⑩ モデルのケープは、競技時間内(40分)に取らなければならない。
- ⑪ 競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑫ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ⑬ 競技終了後、選手は直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑭ 審査中、モデルは手に何も持ってはならない。
- ⑮ 審査中、モデルは指示された方向を向き、座ってポーズをとり、審査時間の 2/3 が過ぎた時点で、立ってポーズをとらなければならない。(審査時間は選手数により変動する。)
- ⑯ 全体の1/3以上のパーマ(根元、中間、毛先の範囲は問わないがストレートパーマは認めない。)が施されていて仕上がりに反映されてなければならない。
- ⑰ ヘアピース、ウィッグ、つけ毛(ヘアエクステンション)、ヘアアクセサリは禁止する。
- ⑱ イヤリング、ピアス、ネックレス類は使用可能であるが、競技時間内(40分)につけなければならない。
- ⑲ 結い上げ・まとめ髪は禁止する。
- ⑳ “ネオン”カラー(蛍光をともなった色)を除きカラーの選定は自由である。ただし、極端なものであってはならない。
- ㉑ カラースプレーは禁止する。(ラメ入りも禁止する。)
- ㉒ メイクは自由とし、事前に施すものとする。ただし、タトゥー(絵)及びアートメイク等は禁止する。
- ㉓ 競技時間内に使用する整髪料は自由とする。
- ㉔ 競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、はさみ等の用具を収納する部分の確実な消毒が難しいと考えられるもの(革製等のケース)の使用は禁止する。
- ㉕ 電源は1人1. 3kW までとし、コンセントは1口用である。(2口用コンセントは禁止する。)
- ㉖ 控室で電源の使用は禁止する。

[注] モデル、ドライヤー等の消費電力は、控室で、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。